

2025年

風光れ

人権のたより

通算第84号 10月6日発行

三重県立津東高等学校

今年の「中秋の名月」は10月6日です。中秋の名月は9月では？と思っ
た人もいるかもしれません。中秋の名月は旧暦8月15日の月。今年は旧暦
では閏六月があったので昨年より2週間ほど日付がずれています。

○ トロッコ問題とカルネアデスの板



「制御不能になった路面電車（トロッコ）が暴走している。線路の先には5人の作業員がいて、このままだと5人はトロッコにひかれて死んでしまう。あなたの目の前に線路の切り替えスイッチがある。このスイッチを操作すると線路が切り替わりトロッコは別路線に進むが、そこにも1人の作業員がいる。あなたはこのスイッチを操作すべきだろうか。」

1967年、イギリスの哲学者フィリッパ・フットが提起したこの問題は命の価値観や倫理観を問う思考実験としてよく知られています。この問題に「正解」はありません。

同じく、命の価値観、倫理観にかかわる思考実験の問題としてこのようなものがあります。「船が難破し、あなたを含む船員たちが海に投げ出された。板が浮いているが、小さくて一人しかつかまれない。あなたが生き延びるため、板を他者から奪って溺死させるのは正しい行為だろうか。」こちらは古代ギリシアの哲学者、カルネアデスが出したといわれる問題で「カルネアデスの板」とよばれているものです。

こちらは刑法において「緊急避難」を語る際にその例示として使われることが多いようです。どちらの問題も「ある人権を守る場合、そのために他の人権を侵害してもよいのだろうか」といいかえることができそうです。さて、正解がないこれらの問題、あなたはどのように考え、どのような答えを導き出しますか。

○ 数値や情報のみを見る危うさ ～～それらが意味することを考えよう～～

スイスの非営利団体「世界経済フォーラム」が今年の6月に発表した日本のジェンダーギャップ指数（GGI）は118位/148か国です。（値が1に近いほど男女平等 日本は0.666）この情報だけを見て「日本は海外に比べて男女格差がひどい」という人がいます。はたしてそうでしょうか。国連開発計画（UNDP）の2025年のジェンダー不平等指数（GII）は22位/172か国となっています。（値が0に近いほど男女平等 日本は0.059）

日本の女子大学の数は2025年現在71校。これに対して男子大学の数は0校です。そして日本の女子大の数と比率は世界一です。また入学試験に女子枠を設けている大学は理工学部を中心に40校、これに対して男子枠を設けている学校は1校（令和8年度より）のみです。さらに、日本の法律では助産師は女性のみと定められていて、男性は助産師の国家試験の受験資格すら与えられません。…さて、わざと反論するような数値や情報を羅列しましたが、だからといって性差別がない、あるいは男性冷遇というつもりはありません。

それらの数値や情報が何を意味しているのか、しっかりと調べ考えることが重要です。